



「地域学校協働活動だより」は枕崎市のホームページにも掲載されています。QRコードやパソコンで検索して、カラー写真付きの記事をご覧ください。

## ～読書感想文の書き方のヒント

## 夏休み青少年講座～ 枕崎地区公民館

枕崎地区公民館の夏休み集中青少年講座の一つ「おはなし おはなし」が、8月4日に行

われ、枕崎市立図書館の朝田館長が色々な絵本を紹介しながら、読書感想文の書き方のヒントを次のように話してくれました。

- ①読書感想文を書くときに一番大事なことは、「自分の大好きな本を選ぶ」ことである。絵本でも読書感想文が書ける。絵本の中にも読書感想文の課題図書になっている本もある。
- ②その本を読んで自分が面白かった所に「ふせん」を貼ってみる。
- ③本を全部読み終わった後で「ふせん」の所を見て、「何が面白かったんだろう」「自分はこういう気持ちだったんだろう」と考えてみる。
- ④そういう「面白かったこと」や「自分の気持ち」などを書きためておくと、自分の言葉が少しずつ増えてきて、それをつなぎ合わせて感想文を書くことができると思う。

また、絵本を使って言葉を見つけるゲームをして、「言葉遊びをして本に親しむと、自然に語彙が増えて自分の気持ちを言葉にできる。」との話がありました。

少ない参加者でしたが、ゲーム感覚で本に親しんで、読書感想文の書き方の大きなヒントをもらいました。



## ～親子で「ワックスバー」作り

## 夏休み工作教室～ 桜山地区公民館

桜山地区公民館の夏休み人気の青少年講座「工作教室」が、7月24日に南薩少年自然の家の職員の方の指導で行われました。

今年は家に飾って見て楽しむ「ワックスバー」作りということで、小学生18人、保護者14人と参加者が多く、市民会館での開催となりました。

最初は子供たちだけで作品を作っていましたが、保護者も作品づくりに魅了され、ほとんどの保護者の方が参加していました。

子供たちも楽しかったようで、2個作る子も大勢いたようです。



立神小学校では8月2日の出校日に6年生のクラスで、地域の高齢者を学校に招いて戦争体験の話を聞きました。

～地域の高齢者を招き戦争体験談～  
立神小学校

立神小学校で毎年取り組んでいる行事で、立神地区公民館の青少年講座の一つにもなっています。この日は、戸床安孝さん、桑原武夫さん、小田弘さんの3人がそれぞれの体験などを話してくれました。

戸床さんは、昭和20年7月29日に枕崎が空襲を受けた時の大きな被害を説明し、小田さんは枕崎沖に沈んだ戦艦大和や枕崎空襲の写真をDVDで上映して解説しました。

最後に桑原武夫さんが、「戦争の時には学校でまともに勉強を教えてもらえなかった」と説明し、「戦争というものがいかに悲惨なものであるか、二度と戦争をしてはならない」と子供たちに訴えました。

子供たちは、地域の高齢者の戦争体験談に真剣に聞き入っていました。



## ～高校生が理科実験の出前授業～

## 桜山中学校

桜山中学校では、7月10日（土）に桜山中学校の卒業生、中川路 貴要さんを含む

む鳳凰高校サイエンスクラブの生徒11名と引率の先生2名が来校し、1・2年生を対象に理科実験の出前授業が行われました。

実験は「銅と亜鉛を使った電池の実験」と「スライム作り」の2種類が行われ、参加した生徒からは、

「どんな条件で電気が発生するのかが分かった。オルゴールが鳴ったときは嬉しかった。」

「サラサラの液体がスライムになる仕組みについて、化学式で説明してもらって分かりやすかった。」  
「夏休みの自由研究でも取り組んでみたいと思った。」

「近くに高校の先輩がついてくださったので、安心して実験できた。」

などの感想が上がり、高校生とふれ合いながら楽しく理科実験に取り組むことができました。



学校応援団ボランティア 募集中！

詳しくは  
生涯学習課まで

TEL76-1286